

IV. 一般演題 口頭発表

Track 1

A-1 9:00–10:00

座長：太田 浩一郎（東京薬大・薬）

A-01 フェナセン類の効率的合成研究

○八岡友里絵¹、北島満里子²、石川勇人²（¹熊本大院・自然、²千葉大院・薬）

A-02 *N*-アミノピリミジル-オルト-置換アニリン誘導体を用いた連動ならびに段階的減速機能を有するプロトンブレイキ分子

○竹谷修平、白井毅史、本間大貴、北川理（芝浦工大・工）

A-03 新規蛍光分子Bis-pseudoindoxyl類縁体のデザインと合成

○矢澤智弘、中島誠也、根本哲宏（千葉大院薬）

A-04 チオガラクトシドを用いたOne-potポリグリコシル化反応による大環状オリゴ糖の合成と構造解析

○石上剛大¹、関健仁¹、染谷英寿¹、山田泰之^{2,3}、青木伸^{1,4}（¹東京理大・薬、²名大院・理、³JSTさきがけ、⁴東京理大総研）

A-05 ベンズアニリド誘導体におけるアミドシーストランス制御によるペプチドコンホメーション変化

○一瀬朝海、尾谷優子、大和田智彦（東大院・薬）

A-06 重水素-軽水素識別に基づく同位体アトロプ異性の検出

○齋藤和哉、三輪翔太、北川理（芝浦工大・工）

A-2 10:10–11:10

座長：石川 勇人（千葉大院・薬）

A-07 Habiterpenolの第2世代全合成

○田口遙規¹、川口真由子²、有馬志保¹、長光亨¹、大多和正樹¹（¹北里大院・薬、²北里大・薬）

A-08 タキソールCD環部の合成研究

○高岡恭兵、今村祐亮、長友優典、井上将行（東大院・薬）

A-09 Apetalinone Cの合成研究

○狩野朱音、小林諒真、渡部結、藤本裕貴、矢内光、松本隆司（東京薬大薬）

A-10 海産エイコサノイドEcklonialactone BおよびEiseniachloride Bの全合成

○太田浩一郎、釜池和大、宮岡宏明（東京薬大・薬）

A-11 (±)- Vetiverianine A の全合成研究

○永田泳柱、岡田孝治、加茂翔伍、足立慎弥、松澤彰信、杉田和幸（星薬大）

A-12 Tanzawaic acid A の全合成研究

○田中虎太郎、李大葵、供田洋、長光亨（北里大・薬）

A-3 11:20–12:20

座長：山本 大介（北里大・薬）

A-13 (+)-20-エピ-シリシンの不斉全合成

○安高理裕、北島満里子、石川勇人（千葉大院・薬）

- A-14 **(±)-Penicibilaene Aの全合成**
○松尾麟太郎、渡邊歩、加茂翔伍、松澤彰信、杉田和幸（星薬大）
- A-15 **Corallocin Aの全合成**
○中里優太、益子智弥、勝村悠太、加茂翔伍、松澤彰信、足立慎弥、杉田和幸（星薬大）
- A-16 **位置選択的なヨード環化反応を利用した CJ-16,170 および2-*epi*-CJ-16,169 の全合成**
○李大葵、鵜崎拓也、長井啓祐、有馬志保、大多和正樹、長光亨（北里大・薬）
- A-17 **海産ポリケチド Plakdiepoxide および Plakortone Q の合成研究**
○岡崎伸之輔、仙田香帆、太田浩一朗、釜池和大、宮岡宏明（東京薬大・薬）
- A-18 **転位型新規*Lycopodium*アルカロイドHuperzine Hの不斉全合成**
○塩見慎也¹、Kaewsri WILAILAK^{1,2}、早乙女航¹、Thongsornkleeb CHARNSAK²、高山廣光¹、北島満里子¹、石川勇人¹（¹千葉大院・薬、²チュラポーン研究所）

Track 2

B-1 9:00–10:00

座長：小暮 紀行（国際医療福祉大・薬）

- B-01 **アルカリホスファターゼの活性部位を模倣した超分子錯体の設計・合成と水/有機溶媒二相系におけるリン酸モノエステルの触媒的加水分解**
○岡本紘知¹、Akib Bin Rahman¹、青木伸^{1,2}（¹東京理大・薬、²東京理大総合研究院）
- B-02 **ビタミンD受容体転写阻害ペプチドの創製**
○田京茉実^{1,2}、三澤隆史²、黒原崇²、石田寛明³、山本恵子³、出水庸介^{1,2}（¹横市大院生、²国立衛研、³昭和薬科大）
- B-03 **23位フッ素化ビタミンD₃誘導体の効率的合成法開発**
○川越文裕¹、本谷小佑里¹、安田佳織²、榊利之²、橘高敦史¹（¹帝京大・薬、²富山県大・工）
- B-04 **長鎖アルキル基を有する選択的エストロゲン受容体分解誘導剤の開発**
○津田萌葉^{1,2}、正田卓司²、平田尚也²、諫田泰成²、井上英史¹、出水庸介²（¹東京薬大・生命、²国立衛研）
- B-05 **新規δオピオイド受容体作動薬の創製**
○石崎早希¹、平山重人¹、岩松千晴¹、丹羽淳一¹、Magan. E. Reid²、中村英生²、藤井秀明¹（¹北里大院、²日本ケミファ・創薬研）
- B-06 **シアニジンの作用メカニズム解明に繋がるビオチン標識体の合成**
○花城翔詠、越阪部奈緒美、須原義智（芝浦工大・シス理）

B-2 10:10–11:10

座長：川越 文裕（帝京大・薬）

- B-07 **Access to Inactive States of Lysolipid G Protein Coupled Receptor through Generation of Inverse Agonists, Switching from Antagonists**
○Junjun Huang¹、Ge Yan¹、Luying Chen¹、Misa Sayama¹、Akiharu Uwamizu¹、Yuko Otani¹、Asuka Inoue²、Junkun Aoki¹、Tomohiko Ohwada¹（¹東大院・薬、²東北大院・薬）

- B-08 **がん細胞のプログラム細胞誘導死を目的としたトリプチセン-ペプチドハイブリッドの合成・設計及び生物活性評価**
○山口晃平¹、横井健汰¹、青木伸^{1,2} (¹東京理大・薬、²東京理大総研)
- B-09 **17-N-フルオロアルキルナルフラフィン誘導体の合成と薬理評価**
○坂本奈津美¹、斉藤毅²、石川有紀子²、徳田明久³、日野翼¹、山本直司²、南雲康行²、杳村憲樹^{1,2,3}、柳沢正史^{2,3}、長瀬博^{1,2,3} (¹筑波大院数理物質、²筑波大睡眠研究機構WPI-IHIS、³筑波大院人間総合)
- B-10 **ビタミンKの結合タンパク質を蛍光標識する誘導体の合成**
○原望遥、廣田佳久、伊東優貴、佐野翔、須原義智 (芝浦工大・シス理)
- B-11 **アゴニストリガンドを利用したLXR分解誘導剤の開発**
○許涵喬^{1,2}、辻巖一郎¹、大岡伸通¹、内藤幹彦³、出水庸介^{1,2} (¹国立衛研、²横市大院生、³東大院薬)
- B-12 **Identification of Inverse Agonists Starting from Agonists for Lipid Mediator Lysophosphatidylserine Receptors**
○Ge Yan¹, Misa Sayama¹, Luying Chen¹, Akiharu Uwamizum¹, Yuko Otani¹, Asuka Inoue², Junken Aoki¹, Tomohiko Ohwada¹ (¹東大院・薬、²東北大院・薬)

B-3 11:20-12:20

座長：片川 和明 (湘南医療大学・薬)

- B-13 **ビタミンK依存性タンパク質に対するカルボキシル化活性を強めるビタミンK誘導体の合成**
○古川奈津子¹、Jian-Ke Tie²、浅野公志³、呉雨馨³、鈴木章平³、廣田佳久³、須原義智¹ (¹芝浦工大・創薬、²ノースカロライナ大・生物、³芝浦工大・生化学)
- B-14 ***Adina rubescens*含有アルカロイドの探索研究**
○中嶋なな子¹、北島満里子²、Lia D. Juliawaty³、石川勇人² (¹熊本大院・自然、²千葉大院・薬、³バンドン工科大・化学)
- B-15 **真菌*Clonostachys rogersoniana* IFM66735 からの大腸がん細胞死を誘導する天然物の探索**
○末広航、原康雅、石橋正己 (千葉大院薬)
- B-16 **Identification of an S-oxygenase involved in the biosynthesis of marasmin, an antibacterial component in *Tulbaghia violacea***
○Wang Jichen¹, Hideyuki Suzuki², Nanako Nakashima³, Mariko Kitajima¹, Kazuki Saito¹, Mami Yamazaki¹, Naoko Yoshimoto¹ (¹Grad. Sch. Pharm. Sci., Chiba Univ., ²Dept. R&D, Kazusa DNA Res. Inst., ³Grad. Sch. Sci. Tech., Kumamoto Univ.)
- B-17 **アクチノロジン生合成における連続水酸化反応機構の解析 (第8報)**
○橋元誠^{1,2}、高崎祐里¹、石川和樹^{1,2}、熊本卓哉³、市瀬浩志^{1,2} (¹武蔵野大・薬、²武蔵野大・薬研、³広島大院・医系科)

Track 3

C-1 9:00–10:00

座長：中島 誠也（千葉大院・薬）

- C-01 マンガン錯体による触媒的酸素付加型アミノヒドロキシ化反応の開発
○奈良輪裕樹、山本大介、星野純一、大庭有紀子、牧野一石（北里大・薬）
- C-02 マンガン錯体による酸素付加型環化反応の開発
○成島悠樹、山本大介、菊地隆誠、松川大輔、牧野一石（北里大・薬）
- C-03 2,6-二置換フェニル基を有する炭素-窒素軸不斉スルホンアミドの触媒的不斉合成
○深澤颯汰、中村千里、菊池裕貴、豊田竜也、北川理（芝浦工大・工）
- C-04 B/Pd共触媒系を用いた糖質の位置選択的グリコシル化反応の開発と天然物合成への応用
○谷川真梨、若槻誠、嶋田修之、牧野一石（北里大・薬）
- C-05 *N*-ヒドロシミアミドホウ素錯体を用いた新規炭素-窒素結合形成反応の反応機構解析
○井下泰地¹、松本真¹、和田浩平¹、浦川一樹¹、石川勇人²（¹熊本大院・自然、²千葉大院・薬）
- C-06 酸性条件における1-インダノンオキシム誘導体の特異的反応の解析
○藤野智大¹、尾谷優子¹、兵頭直²、山口健太郎²、大和田智彦¹（¹東大院・薬、²徳島文理大・香川薬）

C-2 10:10–11:10

座長：加茂 翔伍（星薬大）

- C-07 ジアゾフリー銀カルベン発生法に基づく脱芳香族型多置換シクロプロパン合成法の開発
○古谷典、伊藤翼、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- C-08 ジアゾフリー銀カルベン発生法による不斉シクロプロパン化反応の開発
○竹中浩貴、伊藤翼、本間榛花、原田慎吾、根本哲宏（千葉大院薬）
- C-09 ビタミンB₂を光増感剤とする医薬品の光異性化反応
○須賀真悠子¹、田中優希¹、牧野宏章¹、田畑英嗣²、忍足鉄太²、夏莉英昭³、高橋秀依¹（¹東理大・薬、²帝京大・薬、³東大・薬）
- C-10 可視光照射による3-オキシインドール及び3-オキシベンゾフラン合成
○米山穂果¹、長澤翔¹、山崎敬太²、中島誠也¹、根本哲宏¹（¹千葉大院・薬、²千葉大・薬）
- C-11 二環性β-アミノ酸の水素結合性側鎖によるアミドのシストランス異性化制御
○王樺泓¹、尾谷優子¹、兵頭直²、山口健太郎²、大和田智彦¹（¹東大院薬、²徳島文理大香川薬）
- C-12 アミノ酸を基質にするFriedel-Crafts反応の開発と反応特性の解析
○呉昊¹、澄田明成¹、兵頭直²、山口健太郎²、尾谷優子¹、大和田智彦¹（¹東大院・薬、²徳島文理大香川薬）

C-3 11:20–12:20

座長：原田 慎吾（千葉大院・薬）

C-13 アルケンに対する複素環構築型トリクロロメチル化反応の開発

○小山凌太郎¹、増田龍哉¹、森川貴裕¹、荒井秀^{1,2}、西田篤司¹、原田真至^{1,2}
(¹千葉大院薬、²千葉大MCRC)

C-14 銅(II)を用いたペプチドN末端化学修飾法の開拓

○八本果歩、東林修平、須貝威、花屋賢悟（慶應大・薬）

C-15 1,3-双極子環化付加反応を用いたインドリン2位・3位の連続四置換炭素の構築

○石原菜々花¹、原田真至^{2,3}、荒井秀^{2,3}（¹千葉大薬、²千葉大院薬、³千葉大MCRC）

C-16 水素雰囲気下リンドラー触媒を用いたアリル及びベンジルアルコールの酸化反応

○加茂翔伍、渥美なみ花、奥富直人、足立慎弥、松澤彰信、杉田和幸（星薬大）

C-17 光増感剤を用いたキラルスルホキシドの高速光ラセミ反応の検討

○斗沢紅美¹、田中優希¹、牧野宏章¹、稲垣昭子²、田畑英嗣³、忍足鉄太³、夏莉英昭⁴、高橋秀依¹（¹東理大・薬、²都立大院理、³帝京大・薬、⁴東大・薬）

C-18 azadibenzocyclooctyne 誘導体を用いたクリック反応の立体化学

○山中晃佑¹、田中諒子¹、牧野宏章¹、田畑英嗣²、忍足鉄太²、夏莉英昭³、高橋秀依¹
(¹東京理大薬、²帝京大薬、³東大薬)

Track 4

D-1 9:00–10:00

座長：鈴木博元（千葉大院・薬）

D-01 非晶質シクロスポリンAの構造に調製条件が及ぼす影響

○内田みず穂、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院・薬）

D-02 蜂の子由来グリコーゲンの構造解析とその免疫調節活性

○長崎雄仁¹、阿部美里²、大西正一¹、岡本悠佑²、戸井田敏彦²、東恭平¹（¹東京理大・薬、²千葉大院・薬）

D-03 Ready-to-Use型脂質ナノ粒子製剤の物性評価

○山川拓真¹、田中浩揮¹、萩原伸哉¹、白根大貴¹、高田奈依¹、櫻井遊¹、福田翔²、福澤薫²、米持悦生²、玉川晋也³、中井悠太³、丹下耕太³、秋田英万¹
(¹千葉大学大学院薬学研究院、²星薬科大学、³日油株式会社DDS研究所)

D-04 テアニン投与が生体成分に及ぼす影響

○奥村真美、松本仁見、松本有紀、加藤良規、岩崎雄介（星薬大）

D-05 一工程でmRNAを内封できるReady-to-Use型脂質ナノ粒子製剤の創生

○萩原伸哉¹、田中浩揮¹、白根大貴¹、山川拓真¹、櫻井遊¹、玉川晋也²、中井悠太²、丹下耕太²、秋田英万¹（¹千葉大学大学院薬学研究院・薬学部、²日油株式会社DDS研究所）

D-06 表面プラズモン共鳴法を用いたノルエフェドリンとシクロデキストリンの相互作用検討

○大橋玲子¹、伊野希¹、奈良友里衣¹、古石誉之¹、福澤薫¹、遠藤朋宏²、米持悦生¹
(¹星薬大、²東京薬大薬)

D-2 10:10-11:10

座長：星野忠次（千葉大院・薬）

- D-07 非晶質固体分散体水分散時の薬物相分離挙動が腸管吸収性に及ぼす影響
○竹本土竜、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）
- D-08 フラグメント分子軌道法を用いたヤヌスキナーゼ1選択的阻害剤としての azabenzimidazole 類の結合性解析
○平井優樹¹、町田大樹¹、半田佑磨¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹
（¹星薬大・薬、²立教大・理）
- D-09 エンタルピー緩和時間測定によるエストラジオール固体分散体の分子運動性評価
○原脩祐、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）
- D-10 熱量測定とFMO計算を用いたEstrogen Receptor β と新規リガンド間の結合性解析
○山崎優輝¹、半田千彰^{1,2}、百瀬隆喜²、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹（¹星薬大・薬、²キッセイ薬品工業）
- D-11 FMO計算によるSARS-CoV-2変異株RBD-中和抗体間の相互作用解析
○渡邊一樹^{1,2}、渡邊千鶴^{3,4}、本間光貴³、田雨時²、川嶋裕介⁵、川下理日人⁶、星野忠次¹、西田紀貴¹、福澤薫^{5,7}、高木達也²（¹千葉大院薬、²阪大院薬、³理化学研究所、⁴JST さきがけ、⁵星薬大、⁶近畿大理工、⁷東北大院工）
- D-12 Cholesterol添加がdoxorubicin封入リポソームの形態に及ぼす影響
○徳本大成、植田圭祐、東頭二郎、森部久仁一（千葉大院薬）

D-3 11:20-12:20

座長：宿里充穂（昭和薬大）

- D-13 Astatine-211を用いた新規前立腺癌治療薬剤の開発
○安田雄大¹、平山瑞希¹、高橋和弘²、鈴木博元¹、上原知也¹（¹千葉大院・薬、²福島県立医科大・医）
- D-14 自己組織化写像によるフラグメント間相互作用解析手法の開発
○川嶋裕介¹、田雨時²、半田佑磨¹、奥脇弘次³、渡邊千鶴^{4,5}、川下理日人⁶、古石誉之¹、米持悦生¹、本間光貴⁴、田中成典⁷、望月祐志³、高木達也²、福澤薫¹（¹星薬大、²阪大院薬、³立教大理、⁴理研、⁵JST さきがけ、⁶近畿大理工、⁷神大院シス情）
- D-15 ²¹¹At標識用click chemistry試薬の開発
○山下紗葵、鈴木博元、貝塚祐太、上原知也（千葉大院薬）
- D-16 肝動脈化学塞栓療法への応用を目指した放射性核種標識ICGの開発
○市橋莉大、鈴木博元、上原知也（千葉大院・薬）
- D-17 QuEChERS試薬を用いた神経伝達物質の同時分析法の開発
○松本仁見、奥村真美、高山勇人、加藤良規、岩崎雄介（星薬大）
- D-18 標識抗体フラグメントの腎集積低減を目的とした代謝性ペプチドリンカーとリシン同時投与の併用検討
○立木孝樹、鈴木博元、荒木麻理、上原知也（千葉大院薬）

Track 5

E-1 9:00–10:00

座長：殿城亜矢子（千葉大院・薬）

- E-01 Poly(ADP-ribose)glycohydrolase阻害剤PDD00017273耐性ヒト大腸がんHCT116細胞の作出とその耐性機構の解明
○津田楓¹、倉坂知夏¹、萩野暢子^{1,2}、佐藤聡¹（¹東京理大・薬・生化学、²東京理大・薬・遺伝子制御学）
- E-02 ヒト血清アルブミン融合ヒトラクトフェリンの増強した抗腫瘍活性には、カベオラ依存的な細胞内取り込みが関与する
○栗本大輔、笠間諒也、トルンディン ハウエーアン、佐藤淳（東京工科大学大学院、バイオニクス専攻）
- E-03 ヒト乳がん細胞に対する細胞外ヌクレオシド・ヌクレオチドによる細胞死誘導とそのメカニズムの解明
○保谷藍、北畠和己、月本光俊（東京理大・薬）
- E-04 WEE1阻害薬耐性細胞におけるAKTの活性化
○奥田賢、近藤慎吾、加藤優、杉本芳一（慶應大・薬・化学療法）
- E-05 がん細胞によるマクロファージの機能制御
○田上優月¹、高野博之¹、真鍋一郎²（¹千葉大院・薬、²千葉大院・医）
- E-06 未分化大細胞リンパ腫におけるNPM-ALKによるSTAT5の発現抑制機構
○向來朗、戸田恵里花、Lin Xin、上田史仁、多胡めぐみ（慶應大・薬）

E-2 10:10–11:10

座長：溝口貴正（千葉大院・薬）

- E-07 Side population細胞に対するepigenetic阻害薬の効果
○春名俊志、加藤優、近藤慎吾、杉本芳一（慶應大・薬・化学療法）
- E-08 ヒト神経膠芽腫細胞における放射線抵抗性と運動能亢進へのプリン受容体の役割
○關紘夢、北畠和己、月本光俊（東京理科大学・薬）
- E-09 ネクロシスとアポトーシスの細胞死制御機構の解明：NAD⁺-NAM サルベージ経路と細胞死の関連性について
○舟山直輝¹、高橋祐衣¹、三好哲也¹、綿矢有佑²、金恵淑²、佐藤聡¹（¹東京理大・薬・生化学、²岡山大・薬・国際感染症制御学）
- E-10 融合型チロシンキナーゼNPM-ALKによるSTAT3を介した発がん誘導機構
○Lin Xin¹、上田史仁¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹（¹慶應大・薬、²自治医大・医）
- E-11 ヒトラクトフェリンの抗腫瘍効果を増強するヒト血清アルブミンドメインの同定
○大久保一希、佐藤淳（東京工科大学大学院 バイオニクス専攻）
- E-12 PINK1依存的ミトファジーのがん細胞代謝リプログラミングへの関与
○宮崎葉摘、白鳥麗香、青木春菜、大島太一、伊藤晃成、青木重樹（千葉大院・薬）

E-3 11:20–12:20

座長：山口憲孝（千葉大院・薬）

- E-13 JAK2V617F変異体によるG-CSF受容体を介した発がん誘導シグナル
○迫ゆうか、片野響、上田史仁、多胡めぐみ（慶應大・薬）

- E-14 ヒト大腸がん細胞HCT116における5-FU耐性機構の解析
○倉坂知夏、佐藤聡、(東京理大・薬・生化学)
- E-15 ヒトラクトフェリンのガン細胞内強制発現はその増殖を阻害する
○鈴木葉、栗本大輔、佐藤淳 (東京工科大学大学院、バイオニクス専攻)
- E-16 前立腺がん細胞における新規白金錯体のARを介した増殖抑制効果
○新井佑¹、植村雅子²、米田誠治²、廣田佳久¹ (¹芝浦工大院・生命創薬、²鈴鹿医療大・薬)
- E-17 DNA二本鎖切断修復におけるDNA-RNA helicase DHX9の動態解析
○土屋唯菜¹、松谷咲采¹、西良太郎^{1,2} (¹東京工科大応用生物、²東京工科大院バイオニクス)
- E-18 膵臓がん細胞における細胞内エネルギー代謝に与えるLSD1阻害の影響
○青木春菜、宮崎菜摘、大島太一、伊藤晃成、青木重樹 (千葉大・薬)

Track 6

F-1 9:00-10:00

座長：山崎真巳 (千葉大院・薬)

- F-01 ヒト血清アルブミン融合ヒトラクトフェリンのガン細胞増殖阻害に対する胎児性Fc受容体 (FcRn)の影響
○渡部文周、高瀬穰、ハナノピア、栗本大輔、佐藤淳 (東京工科大学大学院、バイオニクス専攻)
- F-02 重力反転培養および放射線照射により誘発される細胞応答メカニズムの解明
○溝口湧真¹、上村真生²、北畠和己¹、青木伸¹、月本光俊¹ (¹東京理大院・薬、²東京理大院・先進工)
- F-03 Caffeine代謝物との相互作用解明へ向けたヒトPARP1の精製
○久修一朗、河野洋平、小林正樹、青山隆夫、横山英志 (東京理大・薬)
- F-04 ヒトCHEK2遺伝子プロモーターの*trans*-レスベラトロール応答性
野瀬真理枝、○荻野暢子、内海文彰 (東京理科大・薬・遺伝子制御学)
- F-05 NF- κ B経路活性化によるオートファジー制御機構の解析
○寺田葉摘¹、高倉勇氣²、町田萌香¹、堀直人¹、荒木拓郎¹、川村友博¹、川島志織¹、高野博之¹、山口憲孝^{1,2} (¹千葉大・院薬・分子心血管薬理学、²千葉大・院薬・分子細胞生物学)
- F-06 GTP非依存性PI5P4K β 点変異マウスの作出とその表現型解析
○鈴木章平¹、廣田佳久^{1,2}、佐々木美加²、Schurdak Jennifer²、Perez-tilve Diego²、佐々木敦朗² (¹芝浦工大・生命科学、²シンシナティ大・医)

F-2 10:10-11:10

座長：佐藤 淳 (東京工科大院)

- F-07 UPLC-MS/MSによるビタミンK中間体MDの体内動態解析
○浅野公志¹、田島昂紀²、鎌尾まや³、須原義智²、廣田佳久² (¹芝浦工大院・生命創薬、²芝浦工大・生命科学、³神戸薬科大・薬)

- F-08 ヒストン修飾因子Chd5を介したビタミンKの神経分化機構**
○楊帆¹、山下裕太郎¹、鎌尾まや²、須原義智¹、廣田佳久¹ (¹芝浦工大院・生命創薬、²神戸薬大・薬)
- F-09 コーヒーによる神経炎症の抑制効果**
○村田大典¹、森脇康弘¹、多胡憲治²、中澤洋介¹、田村悦臣¹、多胡めぐみ (¹慶應大・薬、²自治医大・医)
- F-10 ゼブラフィッシュを用いた慢性ストレスが脳機能に与える影響の解析**
○今井晴菜¹、栗山満里奈¹、溝口貴正²、伊藤素行² (¹千葉大・薬、²千葉大院・薬)
- F-11 老化による睡眠障害へのグルタミン酸シグナルの関与**
○林麗奈¹、侯雪²、伊藤素行²、殿城亜矢子² (¹千葉大・薬、²千葉大院・薬)
- F-12 選択的セロトニン再取り込み阻害薬SSRIの抗炎症効果の解明**
○竹中洋平、北畠和己、田中智博、青木伸、月本光俊 (東京理大院・薬)

F-3 11:20－12:20

座長：廣田 佳久 (芝浦工大院・生命創薬)

- F-13 神経ペプチドFMRFaは記憶を正に制御する**
○木村涼那、郜子昊、伊藤素行、殿城亜矢子 (千葉大・薬)
- F-14 PC-12細胞を用いたIn vitro脊髄損傷モデルの構築とヒトラクトフェリンの効果**
○東城絢音、江嶋俊哉、佐藤淳 (東京工科大学大学院 バイオニクス専攻)
- F-15 脊髄損傷時の神経再生阻害因子(CS-E)に対するヒト血清アルブミン融合ヒトラクトフェリンの増強した神経保護**
○江嶋俊哉、堤菜緒、佐藤淳 (東京工科大学大学院・バイオニクス専攻)
- F-16 皮膚の保湿機能に対するスフィンゴミエリン合成酵素2欠損の影響**
○矢口真帆¹、渡辺研²、山下匡³、岡崎俊朗⁴、徳留嘉寛^{1,5} (¹城西大・薬、²国立長寿医療研、³麻布大・獣、⁴石川県大・生物資源環境、⁵佐賀大)
- F-17 聖徳石浸出液がヒト3次元培養表皮中の天然保湿因子および角層細胞間脂質に与える影響**
○津久井慶¹、垣内拓也²、鈴木将光²、櫻井英知²、徳留嘉寛^{1,3,4} (¹城西大薬、²ゼリア新薬工業、³佐賀大、⁴JCC)
- F-18 量子化学計算によるヘパラナーゼとヘパリン四糖阻害剤の相互作用解析**
○山本亜美¹、東伸昭¹、古石誉之¹、福澤薫^{1,2}、米持悦生¹ (¹星薬大、²東北大院工)

Track 7

G-1 9:00－10:00

座長：伊藤素行 (千葉大院・薬)

- G-01 セラミドキナーゼ欠損細胞におけるセラミド-1-リン酸の産生**
○山崎綾子、本田拓也、中村浩之 (千葉大院薬)
- G-02 プロスタグランジンE2受容体EP2は骨格筋幹細胞の維持に重要である**
○丸山友輔^{1,2}、野上健一郎²、本橋紀夫²、竹村英子²、青木吉嗣²、内海文彰¹、鈴木友子² (¹東京理大院・薬、²国立精神・神経医療研究センター神経研究所)

- G-03 転写共役因子Vgll3による筋分化制御機構の解析
○荒木拓郎、鈴木孝行、堀直人、石川千夏、高野博之、山口憲孝
(千葉大院薬・分子心血管薬理学)
- G-04 脂肪細胞分化におけるRNA helicase DDX5の機能解析
○保木本真梧¹、野間瞭太¹、多胡憲治²、多胡めぐみ¹ (¹慶應大・薬、²自治医大・医)
- G-05 選択的LXRアゴニストGW3965の脂質代謝に対する影響の解析
○大山俊明、小椋康裕、遠藤祐介、山崎研、光本篤史 (城西国際大・薬)
- G-06 高脂肪食摂取マウスに対するオレアノール酸摂取の影響
○上田理恵子、野田遥香、遠藤薫子、山崎研、光本篤史 (城西国際大・薬)

G-2 10:10-11:10

座長：安保博仁 (千葉大院・薬)

- G-07 自己免疫疾患関連因子VGLL3による炎症誘導機構の解析
○堀直人¹、高倉勇氣²、町田萌香¹、寺田菜摘¹、野溝航太¹、棚山瞭¹、高野博之¹、山口憲孝¹ (¹千葉大・院薬・分子心血管薬理学、²千葉大・院薬・分子細胞生物学)
- G-08 老化はマクロファージのTLR応答を変容させる
○萩原健太¹、高野博之¹、真鍋一郎² (¹千葉大院・薬、²千葉大院・医)
- G-09 皮膚常在菌*Cutibacterium*属菌の分子疫学的調査
○小泉珠理、中瀬恵亮、中南秀将 (東京薬大・薬・臨床微生物学)
- G-10 健康成人における皮膚常在菌の薬剤耐性の変化
○星谷麻由、小泉珠理、中瀬恵亮、中南秀将 (東京薬大・薬・臨床微生物)
- G-11 サルモネラLonプロテアーゼによるキノロン剤誘導パーシスター制御
○前川尚輝¹、石原潤一²、石橋正己¹、高橋弘喜²、高屋明子^{1,2} (¹千葉大院薬、²千葉大真菌研セ)
- G-12 肺気管支系におけるTRPチャネル発現の日内変動
○桂川真一¹、照井楓香¹、宮澤正幸¹、香川(田中)聡子¹、河村伊久雄¹、横田理²、吉岡弘毅³、三浦伸彦¹ (¹横浜薬大・薬、²国立医薬品食品衛生研、³テキサス大・ヒューストン医療科学セ)

G-3 11:20-12:20

座長：多胡 めぐみ (慶應義塾大・薬)

- G-13 有害粒子状物質の単回気管内投与による急性肺毒性の比較解析
○武田知起、山野荘太郎、鈴木正明
(独立行政法人労働者健康安全機構 日本バイオアッセイ研究センター)
- G-14 T細胞エンジニアリングを可能とする脂質ナノキャリアの開発
○三山亮¹、田中浩揮¹、中井悠太²、櫻井遊¹、玉川晋也²、丹下耕太²、秋田英万¹
(¹千葉大学大学院薬学研究院、²日油株式会社DDS研究所)
- G-15 病院内で流行しているSCC*mec* IV型MRSAの分子疫学的特徴
○佐藤麻友、川崎日菜子、吉田拓真、中南秀将 (東京薬大・薬・臨床微生物)
- G-16 瘡瘍環境における外用抗菌薬の活性評価
○高橋翔、中瀬恵亮、中南秀将 (東京薬大・薬・臨床微生物)

- G-17 瘡癤環境におけるアクネ菌株の表現型に関する研究
○尾崎天杜、中瀬恵亮、中南秀将（東京薬大・薬・臨床微生物）
- G-18 DHA-1 β -ラクタマーゼ発現*Klebsiella*属細菌のカルバペネム抵抗性
○山中夏樹¹、楠屋陽子²、石橋正己¹、高橋希³、中田孝明³、高橋弘喜²、高屋明子^{1,2}
（¹千葉大院薬、²千葉大真菌研セ、³千葉大院医）

Track 8

H-1 9:00–10:00

座長：佐藤 洋美（千葉大院・薬）

- H-01 グアニン四重鎖をコアとする多足型DNAナノ構造体の構築
○庄司有輝¹、長岡誠¹、遠藤政幸²、杉山弘^{3,4}、佐藤一樹¹、和田猛¹、草森浩輔¹、西川元也¹
（¹東京理大薬、²関大化学生命工、³京大院理、⁴京大iCeMS）
- H-02 米ぬかから調製した機能性ナノ粒子による腹膜播種性転移の治療
○鈴木日向子、佐々木大輔、草森浩輔、西川元也（東京理大薬）
- H-03 リポタンパク質の体内動態制御を目的としたガラクトース修飾トコフェロールの開発
○増子貴大、草森浩輔、牧野宏章、高橋秀依、西川元也（東京理大薬）
- H-04 コレステロール修飾ヘテロ二本鎖核酸の体内動態特性の解明
○吉岡志剛¹、全嬌然¹、草森浩輔¹、山本俊輔²、平林英樹²、横田隆徳³、西川元也¹
（¹東京理大薬、²武田薬品工業、³東京医科歯科大医）
- H-05 持参薬と院内採用薬の対応に関する調査一名称や外観の検討一
○荒井冴子¹、宮本大介²、鈴木和美²、川口真由子²、寺島朝子³、櫻田大也¹、小林江梨子¹、佐藤信範¹（¹千葉大院薬、²JCHO千葉病院薬、³城西国際大薬）
- H-06 GLP-1誘導体の細胞内動態と経鼻投与後の中枢移行機構の解明
○安井瑞希、手塚綾乃、細木悠真、島村美槻、木村玲良、秋田智后、山下親正
（東京理大院・薬・DDS・製剤設計学）

H-2 10:10–11:10

座長：永澤 悦伸（東邦大・薬）

- H-07 マウスモデルを用いた抗CTLA4抗体に対する耐性メカニズムの検討
○ジョーンズヘイリーさくら、栗野泰大、照井亜侑、鈴木博元、上原知也、樋坂章博、畠山浩人（千葉大院・薬）
- H-08 がん病態で増加する骨髄系細胞は抗PD-L1抗体に対するアナフィラキシーを増悪する
○荒井貴宏、小久保朋美、唐鋭恒、安保博仁、平川城太郎、秋田英万、川島博人、樋坂章博、畠山浩人（千葉大院薬）
- H-09 PKC λ 高発現はALDH1A3陽性乳癌幹細胞の非対称分裂能に関与する
○多森翔馬¹、野崎優香¹、本村瞳¹、翁長朝太郎¹、尾崎綾栞¹、佐々木和教²、大野茂男²、秋本和憲¹（¹東京理大・薬、²順天堂大・老人性疾患病態治療セ）

H-10 **がんゲノミクスデータを用いたER陽性型乳がんにおけるSLC20A1遺伝子による治療抵抗性と予後の解析**
○翁長朝太郎¹、松岡泉¹、多森翔馬¹、本村瞳¹、真野泰成¹、佐藤嗣道¹、佐藤圭子²、佐々木和教³、大野茂男³、秋本和憲¹（¹東京理大・薬、²東京理大・理工、³順天堂大・老人性疾患病態治療セ）

H-11 **p62とALDH1A3遺伝子共高発現Luminal B型乳癌は予後不良である**
○尾崎綾栞¹、本村瞳¹、多森翔馬¹、翁長朝太郎¹、松田あかり¹、望月葉々子¹、佐々木和教²、大野茂男²、秋本和憲¹（¹東京理大・薬、²順天堂大・老人性疾患病態治療セ）

H-12 **Stage III-IV乳癌におけるGLO 1-PKC λ 共高発現患者は予後不良である**
○本村瞳¹、尾崎綾栞¹、多森翔馬¹、翁長朝太郎¹、高澤涼子¹、田沼靖一^{1,2}、大野茂男³、秋本和憲¹（¹東京理大・薬、²RIST、³順天堂大・老人性疾患病態治療セ）

H-3 11:20－12:20

座長：葛巻 直子（星薬科大・薬）

H-13 **高精度な抗がん剤スクリーニングを目的とした間質構造を有する膀胱癌細胞スフェロイドの開発**
○高崎凌¹、草森浩輔¹、村橋睦了²、西川元也¹（¹東京理大薬、²東京慈恵医大医）

H-14 **ヒト神経膠芽腫細胞のテモゾロミド耐性機構の解明**
○岡本諒、戸谷滉希、佐藤聡（東京理大・薬・生化学）

H-15 **Gemcitabine耐性膀胱がん細胞に対する合成環状過酸化物の抗がん効果**
○住井遥¹、戸谷滉希¹、綿矢有佑²、金恵淑²、佐藤聡¹（¹東京理大・薬・生化学、²岡山大・院医菌薬・国際感染症制御学）

H-16 **患者個別データを用いたパーキンソン病の長期病態進行モデルの構築**
○神亮太、樋坂章博（千葉大院薬）

H-17 **SOLVD試験の心不全患者の予後に関わるバイオマーカーの統合的評価**
○荒木渉吾¹、副島裕佳子^{1,3}、吉岡英樹²、神亮太¹、樋坂章博¹（¹千葉大院薬、²筑波大医学医療系臨床医学域、³サノフィ）

H-18 **Causal Forestを用いた機械学習による慢性心不全における運動療法の有害因子検出の試み**
○中里裕貴¹、副島裕佳子^{1,3}、吉岡英樹²、神亮太¹、樋坂章博¹（¹千葉大院薬、²筑波大医学医療系臨床医学域、³サノフィ）

Track 9

I-1 9:00-10:00

座長：櫻田 大也（千葉大院・薬）

- I-01 合成レチノイドAm80のCOPDに対する時間治療の可能性検討
○石井香佳、細野薫里、前田浩暉、秋田智后、山下親正
（東京理大・薬・DDS・製剤設計学）
- I-02 ワルファリンとトラマドールの併用後にINRの上昇を認めた4症例：低アルブミン血症と腎機能低下の影響
○花井誠¹、細野智美¹、家田真樹²、井上貴昭²、関堂充²、神林泰行¹、本間真人^{1,2}
（¹筑波大学附属病院薬剤部、²筑波大学医学医療系）
- I-03 臨床研修薬剤師のプロフェッショナリズム評価—P-MEX評価と自己省察レポートの解析—
○竹安葵^{1,2}、加藤里奈¹、小林文¹、山本仁美¹、北原加奈之²、百賢二²、佐々木忠徳²、田中佐知子¹（¹昭和大薬薬学教育学講座教育実践学部門、²昭和大薬病院薬剤学講座）
- I-04 皮膚に直接貼付可能な細胞内包創傷治癒促進ゲルシートの開発
○尾森恵実、草森浩輔、西川元也（東京理大薬）
- I-05 生活習慣病患者における多剤併用の実態に関する研究
○栗林怜奈¹、長谷部詩織¹、金香奈咲¹、信岡友菜¹、秋元紘乃¹、齋藤夏輝¹、石田大祐^{1,2}、廣瀬慎一^{1,2}、青木啓²、鈴木聡子¹、神崎哲人¹（¹千葉大院薬、²マツモトキヨシホールディングス）
- I-06 診療科別の患者における服薬指導内容の認識に関する研究
○齋藤夏輝¹、秋元紘乃¹、金香奈咲¹、信岡友菜¹、栗林怜奈¹、長谷部詩織¹、石田大祐^{1,2}、廣瀬慎一^{1,2}、青木啓²、鈴木聡子¹、神崎哲人¹（¹千葉大院薬、²マツモトキヨシホールディングス）

I-2 10:10-11:10

座長：小原 圭将（東邦大・薬）

- I-07 終末糖化産物急性暴露によるラット頸動脈のウリジン二リン酸誘発収縮増大とそのメカニズム
○倉形雨音、松本貴之、香留智樹、前祐利奈、横山ひより、橋本圭世、佐藤柚希、江崎ゆりか、伊藤真利奈、田口久美子、小林恒雄（星薬大・薬）
- I-08 小腸の頂端膜側と基底膜側の透過性の差と細胞内分布容積を考慮したFg予測のためのin vitro評価系の開発
○吉友葵¹、浅野聡志^{1,2}、保月静香¹、為本雄太¹、香月康宏³、佐藤洋美¹、樋坂章博¹
（¹千葉大院薬、²帝人ファーマ、³鳥取大院染色体工学研セ）
- I-09 妊娠中のdoxorubicin暴露による胎児の肝臓におけるCYP3Aへの影響
○永田遥海、石原萌可、桂響子、寺門泉、西岡真由、落合和（星薬大・薬）
- I-10 GCS阻害剤による抗線維化機構の解明
○久留宮慧臣、周元、山崎綾子、本田拓也、中村浩之（千葉大院薬・薬効薬理学）
- I-11 経鼻投与されたGLP-2誘導体は神経細胞を乗り継いで作用を発現する
○細木悠真、小田優介、山崎隼、木村玲良、島村美槻、手塚綾乃、秋田智后、山下親正（東京理大院・薬・DDS・製剤設計学）

- I-12 組織間のクロストークを標的とした新規がん治療戦略の提唱
○土井瑞貴、大東昂良、田中浩揮、三浦尚也、櫻井遊、秋田英万（千葉大院薬）

I-3 11:20－12:20

座長：本田 拓也（千葉大院・薬）

- I-13 エクソソームのリンパシステム内動態解析とそのメカニズム解明
○大谷あさ¹、櫻井遊^{1,2}、千田克幸¹、田中浩揮¹、秋田英万¹
（¹千葉大学大学院薬学研究院、²東北大学大学院薬学研究科）
- I-14 ラット頸動脈のノルアドレナリン収縮に対する終末糖化産物長期暴露による影響
○佐藤柚希、松本貴之、前祐利奈、横山ひより、橋本圭世、江崎ゆりか、伊藤真利奈、倉形雨音、田口久美子、小林恒雄（星薬大・薬）
- I-15 腫瘍周辺アストロサイトの形質の発現に対するcGAMPの寄与の検討
○大川柊弥、後藤杏子、加藤大皓、白根大貴、田中浩揮、秋田英万、樋坂章博、佐藤洋美（千葉大院薬）
- I-16 胎児期の肝臓およびその他の臓器におけるアルブミンの発現解析
○市川眞子、武田美月、貝沼怜百、落合和（星薬大・薬）
- I-17 SGLT2阻害薬dapagliflozinが脂肪細胞のメタボロームに与える影響
○小金正空、豊島拓斗、後藤杏子、樋坂章博、佐藤洋美
（千葉大院・薬・臨床薬理学研究室）
- I-18 ヒト子宮内膜の胞胚受容準備機構に対する老化細胞除去の効果
○山内直也、草間和哉、安曇麻奈、吉江幹浩、田村和広（東京薬大・薬）

Track 10

J-1 9:00－10:00

座長：田嶋 公人（城西国際大・薬）

- J-01 Enhanced Inhibitory Effect of HSA-fused Human Lactoferrin on Cancer Cell Migration
○Hana Nopia, Daisuke Kurimoto, Atsushi Sato
（Graduate School of Bionic, Tokyo University of Technology）
- J-02 造血器型プロスタグランジンD合成酵素分解誘導剤の創製
○村上優貴^{1,2}、大澤陽^{2,3}、柴田識人²、横尾英知⁴、伊藤貴仁²、柳瀬雄太^{1,2}、黒原崇²、出水庸介^{1,2}（¹横浜市大、²国立衛研、³日大、⁴京都府立医大）
- J-03 角層細胞間脂質モデルを用いたセラミドによる微細構造形成の考察
○荒井梨絵¹、古石誉之¹、福澤薫¹、米持悦生¹、小幡誉子¹、石田賢哉²（¹星薬大院・薬、²高砂香料工業）
- J-04 新規蛍光標識コレステロールR-Cholの有用性の検討
○茂木雛子、本田拓也、村山俊彦、中村浩之（千葉大・薬）
- J-05 HLA-A*31:01ノックインマウスを用いたカルバマゼピン過敏症モデルの構築
○市川眞帆¹、風岡顯良¹、原田直幹²、青木重樹¹、伊藤晃成¹
（¹千葉大学大学院薬学研究院、²大鵬薬品工業株式会社）

- J-06 6-メルカプトプリンの感受性時刻差 ～医療従事者曝露を考える～
○照井楓香¹、宮澤正幸¹、桂川真一¹、香川(田中)聡子¹、河村伊久雄¹、横田理²、
吉岡弘毅³、三浦伸彦¹ (¹横浜薬大・薬、²国立医薬品食品衛生研、
³テキサス大・ヒューストン医療科学セ)

J-2 10:10-11:10

座長：青木 重樹 (千葉大院・薬)

- J-07 機械学習を用いた薬物吸収に及ぼす食事の影響の予測
○星野悠介¹、吉岡英樹²、樋坂章博¹ (¹千葉大院・薬、²筑波大学)
- J-08 Am80封入脂質ナノ粒子の細胞内動態とCOPD治療効果の検討
○根本わか菜、森田勇輝、小田和明、秋田智后、山下親正
(東京理大院・薬・DDS・製剤設計学)
- J-09 センチネルリンパ節検出を志向したリンパ節標的型リポソームの開発
○五味昌樹¹、櫻井遊^{1,2}、三浦尚也¹、田中浩揮¹、秋田英万¹ (¹千葉大院薬、²東北大院薬)
- J-10 新規凍結技術を用いた間葉系幹細胞の製剤化に関する検討
○西田早希、長岡佳帆、犬塚大翔、仲桜々子、前嶋なつき、秋田智后、山下親正
(東京理大・薬・DDS・製剤設計学)
- J-11 柚子由来細胞外小胞の表皮細胞に及ぼす影響と核酸送達システムへの応用
○庄子綾香¹、板倉祥子¹、北村雅史¹、杉林堅次^{1,2}、藤堂浩明¹ (¹城西大薬、²城西国際大薬)
- J-12 分子シミュレーションを用いたsiRNAリポプレックスの可視化による構造解析
○佐々木香純¹、福田翔¹、川嶋裕介¹、奥脇弘次²、古石誉之¹、東顕二郎³、
福澤薫¹、米持悦生¹ (¹星薬大、²立教大・理、³千葉大院・薬)

J-3 11:20-12:20

座長：東 顕二郎 (千葉大院・薬)

- J-13 熱風乾燥を行わない造粒法を用いた口腔内崩壊錠の設計
○山田瑞季、村松駿、石川我汰、古石誉之、福澤薫、米持悦生 (星薬大)
- J-14 ポリエチレングリコール修飾ヒアルロン酸の調製と血中滞留性の評価
○東湧真、望月遥香、関智宏、関俊暢 (城西大・薬)
- J-15 ノシル化プロドラッグの調製とそのグルタチオンによる活性化の評価
○幸村友菜、関智宏、関俊暢 (城西大・薬)
- J-16 ビタミンE足場型材料が誘導する免疫活性化メカニズムの解明
○大山遼太郎¹、Jessica Anindita¹、田中浩揮¹、櫻井遊^{1,4}、石亀晴道²、岡田峰陽²、
丹下耕太³、中井裕太³、吉岡宏樹³、秋田英万^{1,4} (¹千葉大学大学院薬学研究院、
²理化学研究所生命医科学研究センター、³日油株式会社DDS研究所、
⁴東北大学大学院薬学研究科)
- J-17 マイクロ流体技術による核酸-脂質ナノ粒子複合体の調製と特性評価
○石川結理¹、板倉祥子¹、高山幸三¹、杉林堅次^{1,2}、藤堂浩明¹ (¹城西大薬、²城西国際大薬)

J-18 ‘Ready-to-use’ ssPalmE-Phe lipid nanoparticle as a carrier for RNA-based vaccine delivery

○Anindita Jessica¹、田中浩揮¹、大山遼太郎¹、萩原伸哉¹、白根大貴¹、玉川晋也²、
中井悠太²、丹下耕太²、吉岡宏樹²、秋田英万¹（¹千葉大学大学院 薬学研究院・薬学部、
²日油株式会社 DDS研究所）